

2024年8月

Produced by





@IT 開発変革セミナー 2024 夏 特別編集版

～効率化、コスト削減にとどまらない、
システム開発の在るべき姿～

開催日時：2024年8月21日（水）、22日（木）

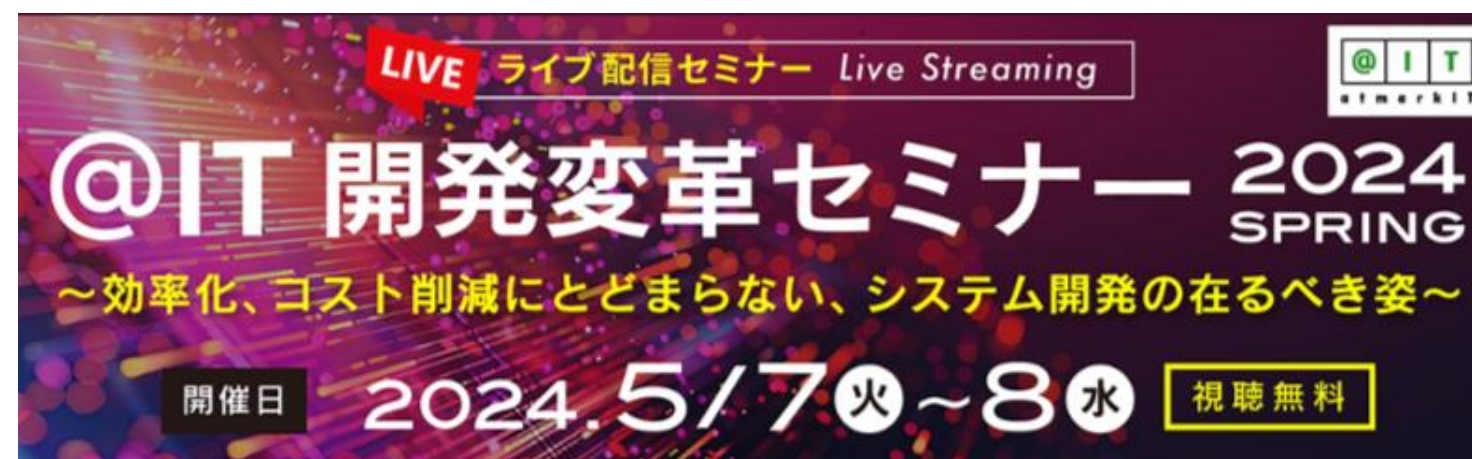
セッションプラン最終締切日：2024年7月24日（金）
リストプラン最終締切日：2024年8月9日（金）

開催概要

名称	@IT 開発変革セミナー 2024 夏 特別編集版 ～効率化、コスト削減にとどまらない、システム開発の 在るべき姿～	イベント形式	集合型オンラインセミナー
主催		事前申込者数	想定600名～800名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます
開催日時	2024年8月21日（水）、22日（木）	想定視聴者属性	IT部門長、経営者、経営企画、 社内情報システムの企画担当者、開発・方針策定者など
申込締切	セッションプラン：2024年7月24日（金） リストプラン：2024年8月9日（金）	告知・集客	
		運営	アイティメディア株式会社

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

過去開催情報



※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

概要

全てのビジネスがITなしでは成り立たないデジタルビジネス時代、企業や組織には、多数のアプリケーションを低コストで効率良く、スピーディーに開発、リリースすることが求められている。

だが、あらゆるITサービスが社会基盤となりビジネス基盤となるいま、はたして効率やスピードだけに注視するような作り方で本当によいのだろうか。現実にはアプリケーションの品質に起因する事件や事故が頻発して社会問題化しているのも周知のとおりだ。

確かにコスト削減は企業にとって最重要課題ではあるが、そもそも何のために、誰のためにアプリケーション開発は存在するのか。その視点が蔑ろにされがちなのではないだろうか。

本セミナーでは、ローコード開発、品質管理、クラウドSIの3ゾーンにおいて、コスト削減、効率化の現実的な手法を説くとともに、その先にどのようなビジョンを描いておくべきなのかを具体的に解説し、**社会基盤、ビジネス基盤として機能し得る本当のITサービス、アプリケーション開発につながる開発変革法**を伝授する。

想定読者

- 業種を問わず、変革を志すユーザー企業／組織
- 現状を打破したい開発者
- 開発効率向上、コスト削減、納期厳守に困るIT部門長
- 経営者、経営企画の方
- 社内情報システムの企画担当者
- 開発・方針策定をする立場の方など

全3セッション

ローコード開発

ソフトウェア品質向上

DevOps支援（クラウドSI）

概要

開発スピードの向上や開発コスト削減が期待されるローコード開発。だが使い方を誤れば、その効用はコスト削減、効率化のみにとどまってしまう。社会貢献、顧客満足につながる効率的なサービス開発の在り方、ローコードツールの使い方を伝授する。

過去イベント



イベント名	@IT 開発変革セミナー 2024 春～Spring～ ～効率化、コスト削減にとどまらない、 システム開発の在るべき姿～
日程	2024年5月7日（火）～5月8日（水） ※5月16日（木）までアーカイブ配信
登録者数	926名
視聴者数	677名

メディア連動特集



過去セミナーのサマリ記事

- [なぜ今、事業部門による開発が必要なのか DXとローコード/ノーコードの深い関係](#)
- [導入で得られたのは「2つの効果」と「2つの教訓」 JALが模索する“事業部門を巻き込んだ業務アプリ開発の最適解”とは](#)

視聴者の抱える課題

- ビジネスのニーズに即応できる開発体制の構築方法が分からない
- 開発部門とビジネス部門の連携のさせ方が分からない
- ローコード開発のメリットを知りたい

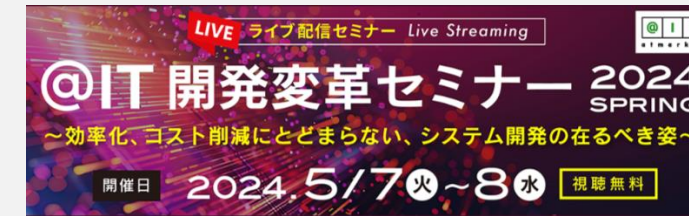
対象ソリューション/キーワード

#ローコード開発
#高速開発
#DX
#効率化
#コスト削減

概要

ビジネスのスピード、変化対応力が求められる中で、開発もその効率性が重視されている。特に利便性の高い新たなサービス価値を生み出すことが競争力の源泉となっているにもかかわらず、人材不足となっている企業も多い。限られたリソースでも社会や企業の発展に役立つ「攻めの品質管理」のポイントを説く。

過去イベント



イベント名	@IT 開発変革セミナー 2024 春～Spring～ ～効率化、コスト削減にとどまらない、 システム開発の在るべき姿～
日程	2024年5月7日（火）～5月8日（水） ※5月16日（木）までアーカイブ配信
登録者数	926名
視聴者数	677名

対象ソリューション／関連キーワード

#品質保証 #品質管理 #テスト管理
#テスト自動化 #データ仮想化
#ソースコード解析 #コードレビュー
#プロジェクト管理 #保守 #バグ管理
#ソースコード管理 #コラボレーション開発
#QA (Quality Assurance) #DevOps
#エンタープライズアジャイル／プロトタイ
ピング #CI/CD #DevSecOps #APM
#脆弱性管理 #SBOM #技術的負債

視聴者の抱える課題

- 今の品質保証体制の改善方法が分からない
- テストコードを書く工数をどう減らせばいいか分からない
- 開発部門とセキュリティ部門、運用部門の連携のさせかたが分からない
- 人材不足、リソース不足解消の方法を知りたい
- テスト自動化、テスト仮想化の実践方法が分からない

概要

社会全体でデジタル化が進む中、企業や組織は自組織の価値を、アプリケーションを通じて提供することが求められている。いうまでもなく、自組織の価値を伝えるからには、その開発に主体的に関わることが不可欠であり、丸投げは許されない。これを受けて、近年「伴走型」を打ち出すSIerが増えているが、自組織の価値を考え、作り、提供することは、各種メディアで取り上げられるようなキラキラした話ではない。地道、かつ泥臭い取り組みの積み重ねによって初めて成し遂げられるものなのだ。本ゾーンでは、**真の伴走の具体像を提示する。**

過去イベント



イベント名	予算もスキルもないからこそパートナーを選べ！ 前向きなSI、後ろ向きなSIの見分け方 ～今を乗り越え、次へステップアップし続けるために～
日程	2023年12月11日(月)12:50～15:00
登録者数	353名
視聴者数	300名

関連キーワード

#マネージドサービス／伴走型SIサービス
#クラウド移行支援
#クラウド基盤構築支援 #運用支援
#クラウドネイティブなアプリケーション開発

視聴者の抱える課題

- オンプレミス信仰のまま、クラウドを検討できていない、クラウド利用が不安
- 従来型の開発プロセスから変革する方法が分からない
- 自社にとって最適なIT戦略を立案する方法が分からない
- AIやクラウドネイティブがよく分からないので、最新のトレンドや事例を知りたい
- 社内でDXプロジェクトを主導できる人材がいらない/DXプロジェクトの進め方が分からない
- 誰に頼めばいいか分からない（おすすめのSIパートナーを知りたい）
- 部門間の連携、協調ができていない

タイムテーブル

▼各セッション枠時間

- ・ 基調講演：40分
- ・ スポンサーセッション：30分

8月21日（水） ローコード開発テーマ		8月22日（木）		
13:00-13:40	基調講演1	13:00-13:40	基調講演2-1	ソフトウェア 品質向上 テーマ
13:50-14:20	スポンサーセッション1-1	13:50-14:20	スポンサーセッション2-1	
14:30-15:00	スポンサーセッション1-2	14:30-15:00	スポンサーセッション2-2	
15:10-15:40	スポンサーセッション1-3	15:10-15:50	基調講演2-2	DevOps 支援テーマ
15:50-16:20	スポンサーセッション1-4	16:00-16:30	スポンサーセッション2-3	
16:30-17:00	スポンサーセッション1-5	16:40-17:10	スポンサーセッション2-4	

【ご留意事項】

- ※セクションごとのセッションスポンサー数が2社未満の場合、そのセクションは実施見合わせとなります
- ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします

ご協賛メニュー

ゴールドプラン協賛企業
のみお申込み可能！

	ゴールドプラン	リスト追加 オプション	全リストプラン	セクションリスト プラン
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	-	-	-
全申込者リスト	-	申込者すべて	申込者すべて	-
協賛セクション申込者リスト (350名想定)	350名想定～上限450名	-	-	350名想定～上限450名
スポンサーアンケート	●	-	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	-	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	-	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (税別・グロス価格)	¥2,800,000-	ゴールドプランに加えて ¥1,000,000-	¥2,400,000-	¥2,000,000-

【備考】 ※申込者数は想定値となります。

※リスト追加オプションおよび全リストプランは本セミナーの全申込者を納品いたします。納品予定の想定数はご提示しておりません。

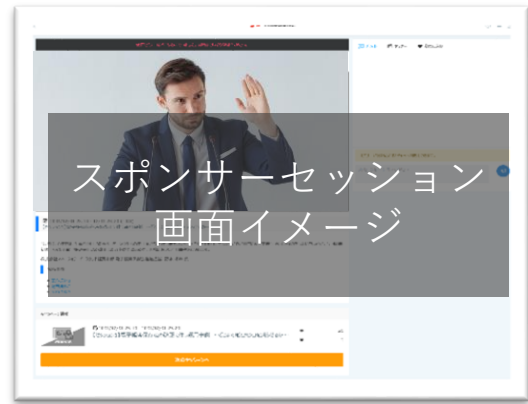
※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、全申込者数が減少する場合がございます。

※各セクションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セクション申込者数が減少する場合がございます。

ご協賛メニュー | 詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる
スポンサーセッション枠を
ご利用可能



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全
申込者の名刺情報のリストを
ご提供
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・
住所・電話番号・
メールアドレス・業種・
職種・役職クラス・
従業員規模・年商規模・
関与など
- イベント終了後3~5営業日以
内にExcelデータ形式にて納品

| セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者の
名刺情報のリストをご提供
 - ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・
住所・電話番号・
メールアドレス・業種・
職種・役職クラス・
従業員規模・年商規模・
関与など
- ※事前申込時に該当セクションを視
聴希望としてチェックしている人(任
意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)
のリストが納品対象です。

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に
独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答
の3種類を組み合わせる自由
に設定可能
- アンケートボタンを押すと、
ポップアップで表示

| 視聴者データ・レポートサイト

- セッションのレポートサイトを
ご提供
 - ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番
号・メールアドレス
などの名刺情報
- ※DL可能

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など
(BANT情報) 等も合わせてご提供
- ※アイティメディア側で設定のため個別設
定不可

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲
載、貴社サイトへのリンクを設定可能

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料
の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロード
リンクとするほか、貴社の指定外部リン
クを設定することも可能

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアン
ケートを実施 集計結果を開催報告書と
して会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの
ご提供

※画像はイメージです。

オプションメニュー1

貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申し込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000~**

リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品
 - セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品するリード情報に、アンケート回答情報を付与したうえで納品いたします。
 - リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

リードカスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって金額は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示
- ショート動画の埋め込み
- フローティングバナー情報掲載

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

¥2,450,000

料金 **¥2,300,000**

テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数 50件~
- 期間 3~4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン/キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv

料金 **¥300,000~**

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金 **¥1,300,000~**

DXメディア横断 PV保証タイアップ

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多くメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

10,000PV保証 ~~¥1,900,000~~
料金 **¥1,700,000**

セッションパンフレット作成 (IT・ビジネス関連)

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ (PDF/x) を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

料金 **¥1,200,000**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

お申込みからの流れ

申込締切

セッションプラン：2024年7月24日(金)
リストプラン：2024年8月9日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。
後日弊社より発注書が送付されますので
DocuSignにご署名のうえご返送ください。

告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

告知開始

2024年7月17日(水) 予定

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。
登録・視聴促進の為、**インセンティブ**を使用する場合がございます。

開催準備

配布資料・視聴者向けセッションアンケート
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局
にご提出ください。

※開催2週間前程度
開催2営業日前までにレポートサイト情報も
お送り致します。

開催

2024年2024年8月21日(水)～22日(木)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに
アイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

レポート

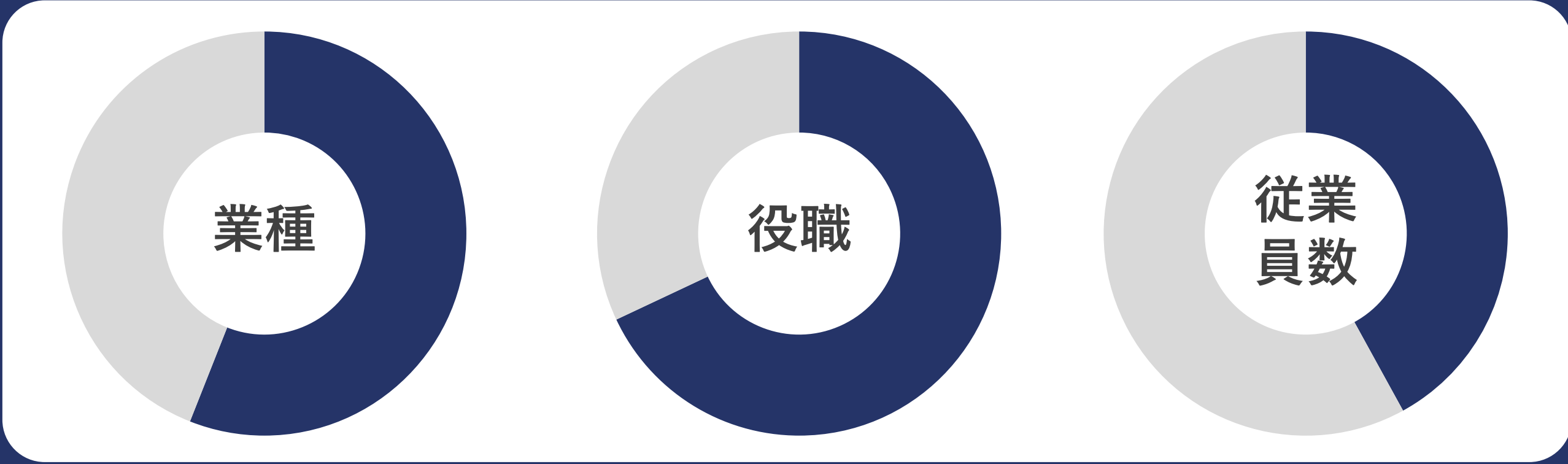
会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**
をご提出致します。終了後1～2週間程度、
セッションのアーカイブ配信を行います。
※予定

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出
致します。

“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア



- 媒体名 @IT
- URL <https://atmarkit.itmedia.co.jp/>
- PV 約770万 PV/月 約390万 UB/月 ※2024年1月実績
- メルマガ配信数 約54万通



ユーザー企業 約**56%**
主な内訳：IT関連35.5%, 製造業29%

係長クラス以上 約**60%**
主な内訳：係長クラス21.2%, 部長クラス20.6%

1000人以上 約**41%**
主な内訳：1000人～5000人未満18.4%, 5000人以上24%

ご留意事項

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 50%
開催日40日以内のキャンセル : 100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いため、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

Produced by



アイティメディア株式会社

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル13F

MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp 担当 : 営業本部